貴重書

40.8.26
ア306531

津田屋歌浪
池之屋蟻助

比翼紋松鶴賀

柳亭種彦作
歌川豊國画

上

江戸通油町
鶴屋喜蔵板

鶴屋に鶴賀の因あまたが若狭椽が正本所と定しかつ乃
古印本を仙鶴堂にてつらく視れば紋も替らぬ七寶の
松に朝日と輝きし歌波義助が名をかりて今年も
趣向の青砥川扇落しのさつかみに廻す舞臺の大磯
小磯化粧するまゝから仙女香烟草の煙雲とまつり夢み
なうまゝる婚礼ハ彼荘公が蝶花形娵ハ規式に丸綿乃
丸く納る仲人ハ鎖帷子小手腨當仇討でぐちれ對の
白無垢めぐりもくて幼名をまゝかひ子札に堀兼屋嬉しく
あに睦どうしうしに見し世と絡り合其七ッ目乃ひつじの
新作愛度筆をとる者ハ柳亭種彦

大磯津田屋
遊女歌波
朝をつ雑
うまく
過て
由留木の
池谷穂太夫
迎臣
一子
蟻助
すさまじや
雨等

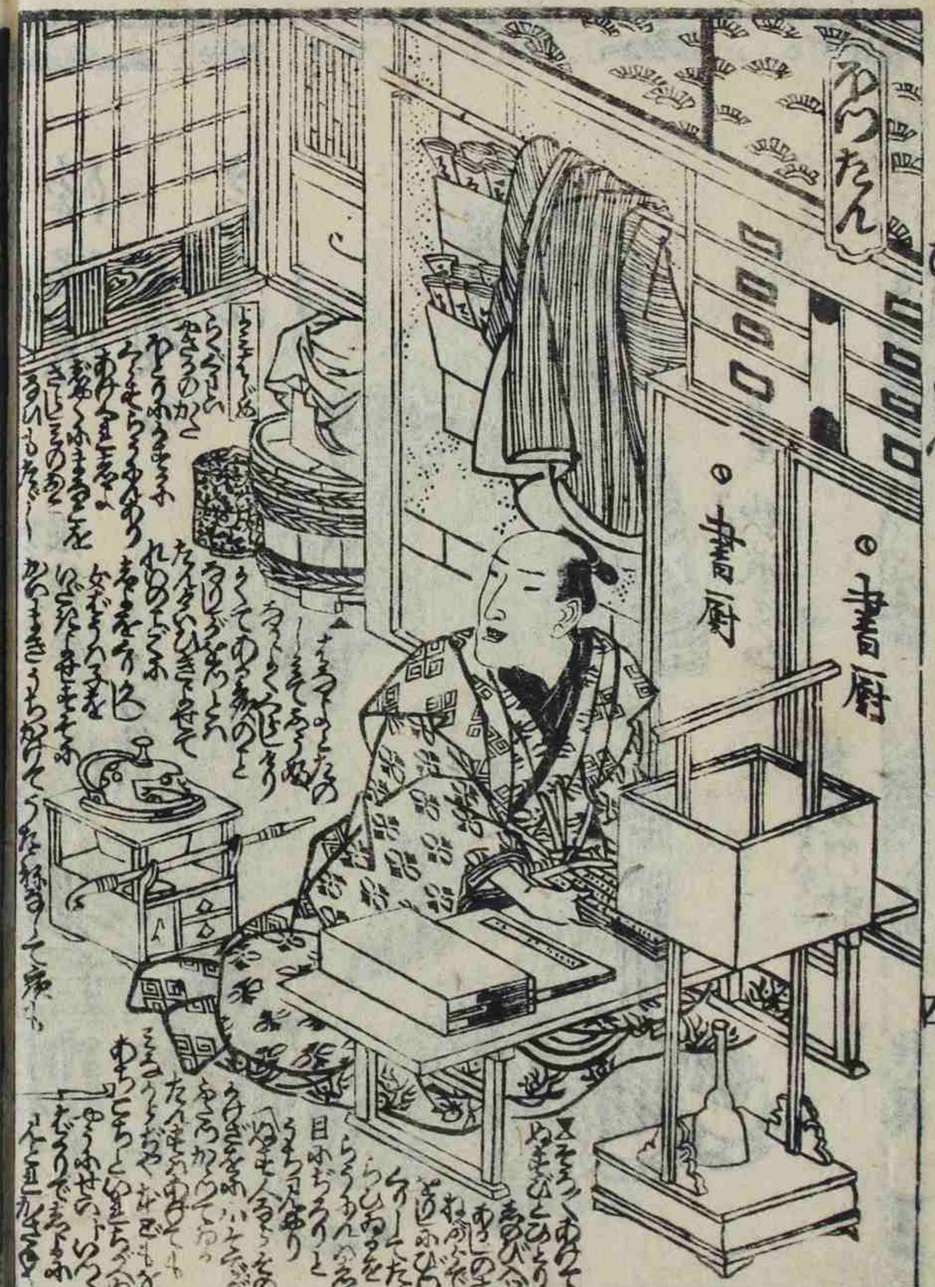
上風荻右衛門が娘小三

由留木の家臣佐分

向不見の闇六

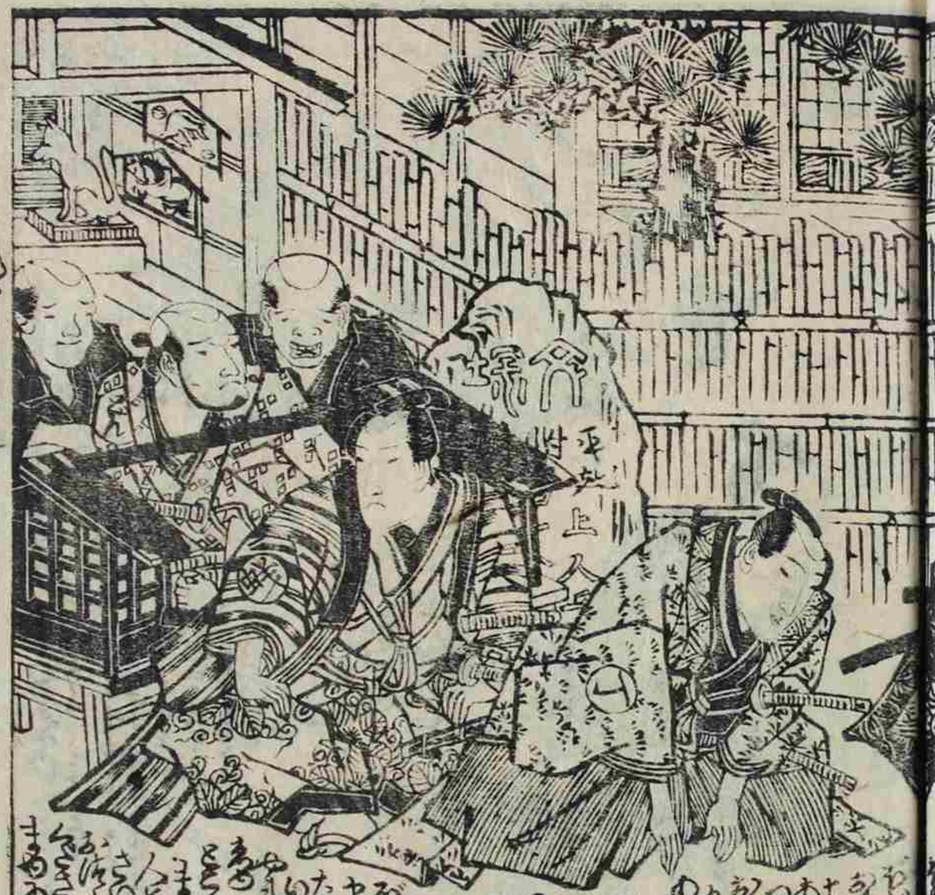
丁蔵

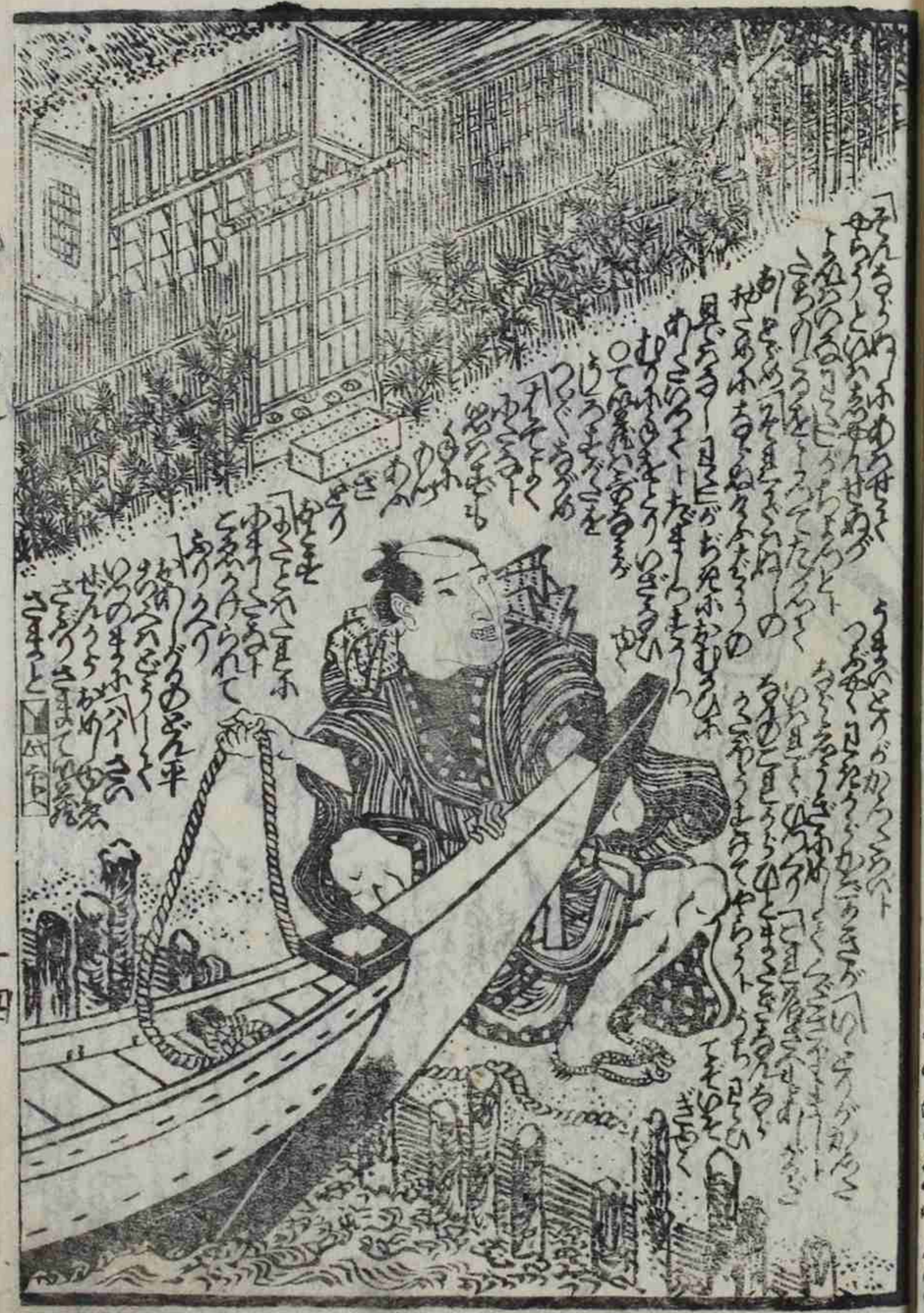
再出
銭助落魄て
門浄瑠璃をかける支ハ
後編にあり
信章
永正二
乙丑
宵吉日
帳箱
堀兼屋
井戸右衛門
再出
歌波稲びれ
女房阿歌



ゆりたん
書厨

笑種





文政六癸未春新鐫

箕笠翁 随筆 **玄同放言** 初編二編共ニ六冊出板 第三編三冊 近刻

右は第二編三冊[illegible]動物の部より[illegible]古器舊物異鳥奇獸の圖等皆[illegible]作者の考を盡せり[illegible]

新撰 **女古状揃園生竹** 大本 [illegible]

高蘭山翁編撰

△女今川△女[illegible]△[illegible]

八文舎自笑評

三箇之津 **役者評判記** 一名 藝品定 全三冊

[illegible]

當未 正月二日より うり出し

書肆 江戸通油町翠橋之西 仙鶴堂 鶴屋喜右衛門板

[illegible]

五月吉
當木

雙峯堂
三國堂
八文舍自製書

文章軌範 全三冊

青軒

山陽 京 輔屋喜右衛門 敬

文章軌範 大本 全三冊

島蘭山 敬編 撰

文章軌範圖式 大本

興譲館

文同 敬 言

第三編 二冊 近刻
第三編 一冊 共六冊出板

柳亭種彦 ひ清し乃
歌川豊國画 まき彩まん
ひとくひんげ まき
蟻助
黒奴下巻
夏あふら丁
つるや 私たち

つるや

つゞき　ゆうさのそうでんどのゝやうすおそんじでござりまするがゆうべさまくめーいごさまをうまくおもてなしてまいらせましたことをきつとうさんしこのむさーがちやうしゆうをたゞしくとをうぬとうまびさうさくのーうまのこくまでそうだのかうーくまをうみたまそうまびうまさまのおさんごたのもあめちうごれこうろくさをえんよもんをうけくちくのちうみさまうくうんぐさおがとうもうこうそのをそのまうふもそおもうよのうまそろうかとおきうさまてことそうのうきうさんせーみきうせんうそれがようさーのれてうこそちうふ※

※さあわうれさのうそのゆうくまでよ

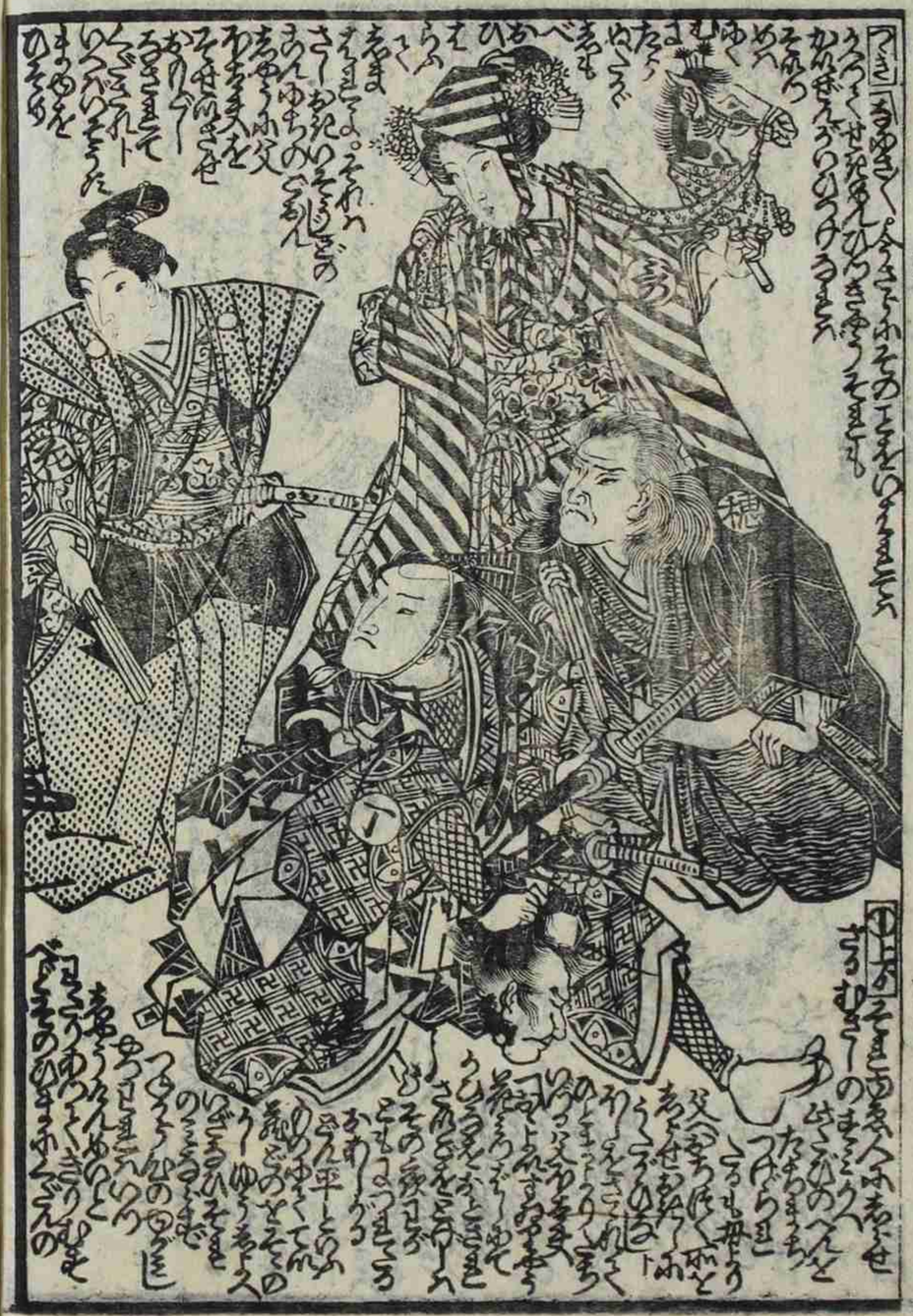
きくれまあってもうきうこんどうふうかとみのまこのかくさのうきうこんどをたのめと

◢ゆれわしーまりやさのそひうのはんぐくさのでぐちゆくきこうーくスそこでのつくんの月ちの日ろみまのつけのさのそひろれぐうそうちいちとこさせみやをうそのたんそうせまうのーめをうそのたんそうせまうのーこまでくのちくうんぐさおがとうもうこうそのをそのまうふもそおもうよのうまそろうかとおきうさまてことそうのうきうさんせーみきうせんうそれがようさーのれてうこそちうふ※

※さあわうれさのうそのゆうくまでよ

きくれまあってもうきうこんどうふうかとみのまこのかくさのうきうこんどをたのめと

おのれめをおとみろさまこびおそびまそうだまでまよアそまでまでいかうさーまそうろうくちやけうきまくそうろうまうかうこのちうまうこ



歌川豊國画 柳亭種彦作

傭筆 千形仲道
彫刻 江川留吉

文政六癸未新鐫稗史

膏油橋河原祭文 全六冊 曲亭馬琴作 歌川豊國画

傾城水滸傳初編 全六冊 同 同 作画

囮行曲浮名仇色 全六冊 墨川亭雪麿作 歌川国直画

江戸通油町翠橋西 仙鶴堂 鶴屋喜右衛門 板元

美艶仙女香 一包四十八銅

津田屋歌波 池谷蟻助 比翼紋松鶴賀 全六冊 柳亭種彦作 歌川豊國画

柳屋が紅藍 鶴屋が白粉 唐人髻今國性爺 全六冊 同 五渡亭國貞画 作

国文
24L
43